

社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
①計画の名称	流山市地域
②都道府県名	千葉県
③計画作成主体	流山市
④計画期間	平成20年度～24年度
⑤計画の目標	『既存市営住宅の改善により住宅の延命を図る。』 『安全で安心できる居住水準が確保された住まいづくりの実現。』 『つくばエクスプレス沿線等において住環境の整備を図り、住宅、宅地の供給の促進に寄与する。』
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	流山市建築住宅課住宅対策室において評価を行い、庁内関係部署に意見を照会したうえで確定（平成25年4月）
⑦事後評価の結果	<p>指標1：「市営住宅ストック改善事業の割合」 定 義：市営住宅における外壁改修工事や施設の修繕を実施した住宅棟数の割合 評価方法：市営住宅及び施設の外壁改修工事を実施した住宅等の棟数を把握する。 結 果：従前値：0棟（20年度）⇒目標値：9棟（24年度）⇒実績値：9棟 結果の分析：平成24年度末までに以下の団地において外壁改修工事や公共下水道接続改修工事が完了し、計画通り目標を達成した。 ・市営住宅柳田団地1～4号棟（外壁改修工事） ・市営住宅若宮団地A棟（"） ・市営住宅大橋団地1～4号棟（公共下水道接続改修工事） 外壁改修工事が5棟、下水道接続改修工事が4棟 計9棟</p> <p>指標2：「地上波デジタル放送受信に対応した市営住宅の割合」 定 義：市営住宅の受信設備の改修工事実施の割合 評価方法：市営住宅受信設備の改修工事を実施した戸数を把握する。 結 果：従前値：0戸（20年度）⇒目標値：123戸（22年度）⇒実績値：123戸 結果の分析：平成22年度末までに以下の団地において、地上波デジタル受信設備の設置工事が完了し、改修必要な戸数123戸が改修され、目標を達成した。 ・市営住宅平方団地 84戸 ・市営住宅運河団地 15戸 ・市営住宅第2運河団地 24戸 計123戸</p> <p>指標3：「既成市街地における指定道路等の情報管理」 定 義：建築基準法の規定により、指定された道路の台帳化の割合 評価方法：指定道路図及び指定道路調書システム等の完成品で把握する。 結 果：従前値：0%（20年度）⇒目標値：100%（24年度）⇒実績値：100% 結果の分析：平成24年度末までに、対象範囲内の指定道路及び指定道路調書作成事業が完了し、製品の納品及び道路調書システムの稼働となり、目標を達成した。 対象範囲は、流山都市計画区域 35.28km²、法42条1項1号から2項までの道路種別の道路延長及び路線数で調書を作成した。</p> <p>指標4：「木造住宅の耐震性能の向上」 定 義：木造住宅の耐震化の割合 評価方法：目標耐震改修住宅の戸数の実績 結 果：従前値：0戸（20年度）⇒目標値：75戸（24年度）⇒実績値：74戸 結果の分析：目標戸数に1戸及ばなかったが概ね達成した。</p> <p>指標5：「調整池整備による生活環境の保全と向上」 定 義：水質向上の割合（BOD）</p>

	<p>評価方法：水質検査 結果：従前値：20mg/ℓ（20年度）⇒目標値：6mg/ℓ（24年度） ⇒実績値：9mg/ℓ</p> <p>結果の分析：宮園調整池の水質については、渇水期が続いたことや坂川の水位によって取水制限があり、十分な取水量を確保できなかったため、目標値を下回る結果となった。</p> <p>指標6：「準用河川の水質浄化による生活環境の向上」 定義：水質向上の割合（BOD） 評価方法：水質検査 結果：従前値：14mg/ℓ（20年度）⇒目標値：6mg/ℓ（24年度） ⇒実績値：4mg/ℓ</p> <p>結果の分析：神明堀の水質については、江戸川より年間30回の取水を実施し、目標値を上回る結果となった。</p> <p>指標7：「住宅供給数の戸数」 定義：流山新市街地地区における住宅供給の戸数 評価方法：住民基本台帳における世帯数の推移 結果：従前値：3,200戸（21年度当初）⇒目標値7,400戸（24年度末） ⇒実績値：7,318戸</p> <p>結果の分析：・土地区画整理事業の進捗に合わせた公共下水道整備と都市公園整備及び調整池修景整備等を行い、魅力ある都市環境を創出することで、住宅・宅地の供給促進を図り、地区内住宅戸数が3,200戸から7,318戸に増えた。結果としてほぼ目標値どおりとなった。</p>
⑧結果の公表方法	市のインターネットにて公表を行うとともに、担当課窓口にて閲覧可。
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅等ストック総合改善事業において、外壁改修工事等を実施してきたが、次期地域住宅計画では、まだ実施していない市営住宅の外壁改修工事等を行い、ストック住宅の長寿命化を図る。 ・また、次期地域住宅計画においても、つくばエクスプレス沿線等区画整理区域内の都市公園や下水道整備を引き続き実施し、新市街地区域内の住環境の向上を図り住みよい街づくりを目指しながら住宅、宅地の供給促進をしていく。 ・宮園調整池に関して平成24年度は、利根川流域が渇水であったため、十分な導水ができなかったことから、目標値を達成することができなかった。 今後、許可条件の導水量による水質向上を目指し、目標値により近づけるよう努めたい。 ・神明堀に関しては、目標値を達成することはできたが、さらなる水質向上に向けた対策に努めたい。 ・流山市内のつくばエクスプレス開発関連土地区画整理事業が引き続き実施される状況を踏まえ、平成25年度から始まる流山市地域住宅計画（第Ⅱ期H25～29）においても指標の目標値を10,000戸と設定し、公共下水道整備と都市公園整備を一体的に実施することで魅力ある都市環境の創出を行い、住宅・宅地の供給促進を図っていく。
⑩その他	なし

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。